

令和5年度 都道府県対抗駅伝選手選考基準

1. 編成方針

本大会において全国入賞を目標とする。また、応援してくれる県民が勇気や感動を感じられるレースの実現を目指し、高いスピードと粘り強い強い持久力を持った選手や、臆することなく先頭集団にくらいつき最後まで仲間のためにタスキを渡そうとする気概を持った選手を選考する。

2. 選考競技会

- ① 全県総体大会(中・高) 県選手権・県民体育大会 支部新人大会(高)
全県新人大会(オープンも含む) 全県総体駅伝(中・高)
東北大会(中・高)
- ② 八郎潟駅伝 女子ロード
- ③ 長距離カーニバル
- ④ 特別選考会: 強化事業(練習会、合宿)

トラックレースにおいて特に高校男子 5000m、高校女子 3000m、中学男子 3000m、中学女子 1500m・3000m が対象レースとなる。

3. 選考手順

編成方針に基づき、以下の優先順位により、候補選手を選考する。

- (1) 上記大会入賞者からレース内容が選手団にふさわしいと判断される者
- (2) 7月下旬までに一次候補選手決定

男子：中学男子 全県中学総体において 1500m3 位までに入賞した選手
全県中学総体において 3000m6 位までに入賞した選手
高校男子 全県高校総体において 5000m6 位までに入賞した選手

女子：中学女子 全県中学総体において 1500m6 位までに入賞した選手
高校女子 全県高校総体において 3000m6 位までに入賞した選手
以上の入賞者を候補選手とする

- (3) 二次候補選手決定から選手団の決定まで

男子：11月上旬までに下記の候補選手を決定する。7月下旬での候補選手から入れ替えもあり得る。その後、選考競技会(④特別選考会)によって12月中旬までに選手団を選考する。

男子候補選手：一般4名程度 高校生8名程度 中学生5名程度

男子選手団：一般3名 高校生4名 中学生3名

女子：10月下旬までに「東日本女子駅伝選手団」と候補選手を決定する。7月下旬での候補選手から入れ替えもあり得る。その後、選考競技会（④特別選考会）によって12月中旬までに選手団を選考する。

女子候補選手：一般・高校生12名程度 中学生5名程度

女子選手団：一般・高校生10名 中学生3名

*ただし、特別選考記録をクリアしたものは、選手団内定とする。

4. 特別選考記録（以下の記録を突破した者は選手団内定とする。）

男子：高校5000m 14'15"00（国体選考記録C標準）
中学3000m 8'45"00（全国中学予選通過ライン）
女子：高校3000m 9'30"00（国体選考記録C標準）
中学1500m 4'35"00（全国中学予選通過ライン）
3000m 9'50"00

ただし、大会までに故障、怪我、体調不良など実力を発揮できない状態であれば取り

消しもある。

また、特別選考記録を達成した選手が選手団の人数を超えた場合は、特別選考記録を達成したものにより選考競技会（④**特別選考会**）からメンバーを再度選考する。

5. 選手団補欠選手

候補選手に選ばれた選手は、「新型コロナ感染症対策」や「故障者との交代」等で繰り上がり選考も考えられるため12月中旬以降の強化事業に参加できる。